

はじめに



様々な自然災害が激甚化・頻発化する近年、本市においても、2019年10月に発生した令和元年東日本台風(台風19号)では、床上床下浸水のほか、多数の道路冠水や倒木などの被害が発生しました。市では初めて避難勧告(令和3年5月から避難指示(警戒レベル4))を発令し、10か所の避難所を開設する状況となりました。

いつどのような災害が発生するか予測することは難しいですが、万が一災害が発生した際に、被害を最小限に抑えると同時に、市や関係機関による公的支援である「公助」を速やかに機能出来るように備えることが重要です。そして何よりも市民の皆様一人ひとりが自分(家族)の安全は自ら守るという「自助」の意識と、自分たちの地域は皆で協力して守るという「共助」の意識のもとで、日頃から避難場所の確認や、非常用の持ち物の準備など、万が一の災害に対して備えておくことが大切です。

この度完成した『桶川市防災ガイドブック』は、地震や洪水などの各種災害に対する備えや対処方法、避難所情報、防災情報の入手方法など、災害時に役立つ情報を記載しております。また、一人ひとりの防災行動計画である「マイ・タイムライン」の作成方法も掲載しておりますので、ご家庭で話し合いながら「マイ・タイムライン」を作成いただくなど、本ガイドブックを活用していただけたら幸いです。

今後も引き続き安心・安全なまちづくりを目指し、防災・減災の取り組みを積極的に進めてまいりますので、市民の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和8年1月 桶川市長 小野 克典

もくじ □□

日ごろからの備え

避難場所と避難所	3
自助・共助・公助	4
自主防災組織	4
非常用持ち出し品と備蓄品	5
屋内の備え	6
屋外の備え	6
災害時の情報入手	7
安否情報の連絡方法	7
避難所生活の心得	8
配慮が必要な人や困っている人を見かけたら声をかけましょう	8
心と身体のケア	9
応急手当と心肺蘇生	9

地震ハザードマップ

地震発生時の行動	10
地震発生時 避難の注意点	11
震度階級	11
揺れやすさマップ	12
液状化可能性マップ	14
建物倒壊危険度マップ	15



洪水ハザードマップ

水害時の情報を入手	16
最新の気象情報・	
災害情報を入手	17
雨の降り方と雨量の関係	17
基本は立ち退き避難、次に緊急時の屋内安全確保	18
水害発生時 避難の注意点	18
早めの避難	19
避難行動を確認しましょう	19
マイ・タイムラインを作成しましょう	20
全河川合成版(市全域)	22
全河川合成版(詳細図1)	24
全河川合成版(詳細図2)	26
全河川合成版(詳細図3)	28
各河川の浸水想定区域図	30
浸水継続時間図	31
浸水シミュレーション	31